

文京ソーシャルイノベーション・ニュース

bunkyo-sip.jp

3 2016
月号

特集

「三年目を振り返る」



2015年度の活動を振り返る

広がるソーシャルイノベーション

今年も新たな取り組みにチャレンジ
～参加者の声～

社会起業フェスタ2016レポート
～いいね!から街の仲間をつくろう!～

3年間を振り返る!

2016年度の新たな公共プロジェクト

「新たな公共プロジェクト」は、2013年度からの3か年事業として実施してきました。今年度はこのプロジェクトの最終年度で、延べ参加人数は1,162人、3年間で2,943人となりました。対話、講座、イベント、支援プログラム等により、多くの担い手を創出する仕組みが定着してきました。さらに、担い手の相互交流や相互支援など、担い手を支えるコミュニティも広がってきています。

実施プログラム

対話の場(文京ミ・ライ対話、社会起業対話)

- ①考え込むより、街に出よう!(7/5)
- ②文京区の会社員も街に出よう!(8/5)
- ③頼りになる情報源、持っていますか?(9/13)
- ④私たちが未来を拓くためのメディアとは?(9/24)
- ⑤仲間の見つけ方、広げ方を考えよう(10/4)
- ⑥社会起業対話(11/25)

文京社会起業講座

社会起業入門講座

- ①「ほしい未来をつくる」仕事って何?(7/16)
- ②共感と呼ぶ活動をつくるには?(8/27)

文京社会起業アクション・ラーニング講座
(10/22～2/25 全7回講座)

プロジェクト支援制度

- プロジェクト登録(6月) 9プロジェクト
- プロジェクト支援(1クール 4か月の支援)
- ①8～11月期 4プロジェクト(新規)
 - ②12～3月期 3プロジェクト(継続支援)

文京区NPO活動PRフェア

文京と社会の今がわかるNPO展(9/27)

一年の総括イベント

文京社会起業フェスタ2016
「いいね!から街の仲間をつくろう!」(2/11)

職員の意識改革

6～11月 職員研修(協働推進関係)

情報発信

特設サイト、SNS等による情報発信(通年)
ニューズレターの発行(4月、6月、7月、8月、9月、1月、3月)

数字でみるこの1年

プログラムの延べ参加人数

1,162人



今年度新たに生まれたプロジェクト

22プロジェクト



プログラムの最大参加人数
(NPO活動PRフェア)

420人

区職員
延べ参加数

311人



68.5%

40歳代以下の
参加者の割合

オンラインでの情報提供者数
(メルマガ登録者数と
facebook「いいね!」数)

1,658人
(3/24現在)

66人

地域の活動の担い手と担い手を支える人の
コミュニティ(交流会)登録者数



取材・視察受け入れ回数

12回

この1年で、こんな声が！

文京ミ・ラ・イ対話より

地域の課題を考えるのは、主に行政の仕事であると考えていましたが、こんなにも街づくり、環境づくりに関心のある一般の方々がたくさんいることに驚かされました。

何か地域でやりたくても、「きっかけがない」と思っていたのですが、自分から情報収集をしようと思いました。



社会起業アクション・ラーニング講座より

自分のプランにばかり目が行っていましたが、講座に参加してみて、改めて地域に様々な課題があることに気づかされました。

メンターの方のアドバイスや仲間とのディスカッションから、まずは自分が動かなければ何も始まらないということを痛感しました。



文京区NPO活動PRフェア「文京と社会の今がわかるNPO展」より

様々な分野で、多くのNPOが活動していることがわかりました。興味のある分野の団体に会えたのも良かったです。

様々なNPOの活動を知ることができました。特にミニ教室に参加して、今まで知らなかったことが理解できて、とても有意義でした。



文京社会起業フェスタ2016より

聞いてくださっている方が、なぜ自分がこれをやりたいのかという深いところまで、理解して下さったのに感動しました。これからがんばる勇気が出ました。(発表者)

まだまだ埋もれている素晴らしいプロジェクト、人がいるという発見がありました。そういった方々をどうにかサポートしていけたらと思います。(参加者)



支援プロジェクトより



ぶんきょう・いんぐれす (ぶんきょう・いんぐれす)

地域のマルシェに焼き芋いんぐれすのブースを出展したことで、地域に関わるのが楽しくなりました。また、イングリッシュ愛好家と地域の方とは、価値感が異なる点がありますが、地域でのイングリッシュ体験会の開催を通じて、少しでもお互いのことを知り、共通言語で話せるようになっていくことを目指しています。



まちのキャッチフレーズ、創って使い倒してずっとつながるプロジェクト (文京かるた隊)

地域には多数のコミュニティがあり、これらのコミュニティ同士のネットワークがないことが、都会のつながりのなさを感じさせています。かるたでそれぞれの活動を紹介します。地域の活動をつなぐ「中間支援」の役割ができることがわかり、改めて自分のやりたかったこととつながりました。



ようこそサカミチ in 文京2023 (本郷いきぬき工房)

ユニバーサルと防災と観光を、同時に楽しく学べる「ユニバーサルまちあるき」を初めて開催し、手ごたえを感じました！歴史と情緒あふれる文京区の坂道を、地域コミュニティの中心「坂の駅」として、平時も非常時も誰もが助け合える心のバリアフリー体験を今後も皆様と広げていきたいです！

3年間を振り返る！

支援団体などの活動が継続・拡大！

文京映画交流クラブ、ハッピーファミリープロジェクト、ブンキョー庶務部、文人郷プロジェクトなど、支援後も活動が継続しています。文京映画交流クラブは、地域の企業などの協力を得て、3月に文京映画祭を開催するまでになりました！



ツリー・アンド・ツリーの地域密着型学童保育や、まちの子どもたちのあそび、まなび、くつろぐ場である「さきちゃんち」、Curiosityの高校生の起業体験プログラム、街ing本郷の「ひとつ屋根の下プロジェクト」など、本プロジェクトの関係者による、多くの活動や、区内の拠点が生まれています。



支援団体以外にも、活動や拠点が生まれています！

プログラム延べ参加者 **2,943人** 対話の延べ参加者 **614人**

多くの担い手の創出の場となりました！

文京区のことを知ることができた ▶ 66.7%
文京区の知人が増えた ▶ 63.2%
地域活動に参加するきっかけになった ▶ 38.6%
(区民アンケート調査結果より)

相互に支え合う基盤ができました！

担い手同士のネットワークが広がり、

文京社会起業アクション・ラーニング講座の修了生を中心として、これまで新たな公共プロジェクトの関係者や地域で活動に興味のある方で結成された交流会のネットワークが広がっています。それぞれの活動を手伝ったり、情報交換するなど、地域活動の醸成に貢献しています。



イベントのゲストや、メンターミーティングのメンターなど、延べ97人の活動の実践者や専門家の方々にご支援頂きました。



3年間で多くの専門家やサポーターのご支援を頂きました！



開催レポート

2/11(木・祝) 文京社会起業フェスタ2016「いいね！から街の仲間をつくろう」地域活動の実践者や地域活動に関心のある区民167人が集結！

当日は、ゲストのシブヤ大学学長の左京氏より地域の学びの場の作り方についてお話を伺い、3つの支援プロジェクト、登録プロジェクト、社会起業アクション・ラーニング講座受講生のプランのプレゼンを行いました。「街づくり」「大人の学び」「子どもの学び」「社会課題」のテーマに分かれての発表及び交流の時間では、テーマに関心のある区民の方が集まり、熱心に質問を

したり、意見を交換していました。お子様連れで参加した方も多く、自分たちで子育てや子どものために何かをしたいという思いが伝わってきました。また、体験展示では、イングリッシュや文京かるたづくりの体験、防災に関するワークショップなどが開催され、こちらも人気のプログラムとなっていました。ここでの出会いから活動が広がっていくことが期待されます。



ゲストによるトークセッション NPO法人シブヤ大学学長 左京 泰明氏



今年のチャレンジ！

文京ミ・ラ・イ対話を大学等と連携して地域で開催！

5か所の地域で実施した結果、対話の参加者が延べ240人と昨年度より大幅に増えました。(昨年度の参加者は89人)

重点テーマの設定方法を変更！

区の政策課題ではなく、「都市暮らしの豊かさ」をキーワードに一般的で社会的なテーマを重点テーマとして設定しました。区民の方が関心のあるテーマであることから、多くの区民の方が対話などに参加しました。

成果検証会議を開催

3年間の取組を検証する会議体を設置し、これまでの関係者へのアンケート調査やインタビューを実施しました。(次年度へ継続します)

情報発信を積極的に！

ニュースレターの発行回数を増やし、Facebook、特設サイトでの情報発信を強化しました。Facebookの「いいね！」は、859件と増加しています。(昨年度は637件)

担い手創出プロジェクト 支援本部委員より

本部委員の方々には、プロジェクト登録・支援の選考や、プロジェクト全体の進行管理などに、2013年度から3年間ご協力いただきました。



安藤 哲也氏

NPO 法人ファザリング・ジャパン代表理事

改めてこの取組みが、人材を創出し、エンハンスし、育てる事業であることを認識しました。取組んでいる本人たちが楽しむことが大事で、また、楽しんでいるところには、人が集まってきます。それが人を「巻き込む」ことであり、地域活動の本質だと思います。



井上 英之氏

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘准教授

素晴らしい可能性が育まれた3年間だったと思います。対話してみることで、安心して挑戦を始める場の大切さ、そういう場なくして多くの挑戦は始まらないこと。また、挑戦していくうちに世界はさらにくっきりと機会に満ちて見えること。文京区には素晴らしい人とアイデアがあり、それを支える熱心な周囲の区民、事業者や区役所の職員もいること。共に動き出したすべての方々に、感謝します。



各務 茂夫氏

東京大学教授、
東京大学産学連携本部イノベーション推進部長

例えば、本郷いきぬき工房のように、文京区に数多くある「坂」を、「観光・文化」「防災」「ユニバーサル・バリアフリー」の3つの側面からとらえる着眼は素晴らしく、また、その3つの共通集合を「坂の駅」と定義し、文京区のユニークな社会価値を事業化提案する試みは、行政そのものはなかなかできないが、重要な公共性を帯びたソーシャルビジネスの提案だと思えます。それこそが、まさに文京区の本プロジェクトが本来求める事業であり、新たな公共の担い手の発掘であると思えます。



菊地 端夫氏

明治大学経営学部公共経営学学科准教授

このプロジェクトから、区民が地域で何か新しいことを挑戦する時の、参考となるようなモデルやケースが生まれました。また、これらの先駆の団体や人の経験やつながりを、次の世代へつなぐ、新しい活動やプロジェクトが生み出すシステムもできつつあり、今後にも期待しています。



丁 寧氏

日中の未来を創る会共同代表

担い手づくりでは、課題解決を先に考えがちですが、自分のしたいことありきで、それに公共性が付与するという方法の方が、活動が実際に動き出し、うまくいくのではないかと思います。また、今回のプロジェクトは区職員にとっても、従来の視点をええ、担い手が活動しやすい環境を整える新しいチャレンジでもあったと思えます。

NEW

2016年度の新たな公共プロジェクト

2016年度は、3年間の実績を踏まえ、さらに地域の新しい担い手へのリーチ、担い手同士のネットワークの拡大・スキルの向上、担い手が生まれ支え合う仕組みやプラットフォームの構築などに取組んでいきます！
また、2016年4月にオープンする中間支援施設「フミコム」とも連携しながら、様々なステージにある担い手を支援していきます。

文京ミライ・カフェ

地域の課題や地域の取り組みを知る

新規オープンの「フミコム」で、地域で活動している方によるスピーチ&対話&交流！気になるテーマを皆で話し合い、交流します。軽食・ドリンク付。第1回目はスペシャルナイト。5/11(水)19:00～。

毎月 第2水曜日夜開催

活動支援コーディネーター養成講座

地域活動をつなげ、推進する人を育成

地域のリソースをつなぎ、地域活動の担い手を支援し、活動の交流の場づくりを行うコーディネーターを育成します。
文京ミライ・カフェの企画運営の実践を通じてスキルを習得します。

提案公募型協働事業

区と一緒に地域課題解決の事業を実施

ある程度、事業が固まっている地域活動の担い手からの提案事業を公募し、区の担当課と一緒に協働しながら地域課題の解決を目指します！

プロジェクト団体連絡会

担い手同士で、学び合う場

地域課題の解決を目指す実践者や興味のある方が集まり、具体的なスキルなどの習得のために、お互いに学び合う場を運営します。

毎月 第4火曜日夜開催

引き続き実施！

文京社会起業 フェスタ

担い手と区民の
交流の場

文京社会起業アクション・ ラーニング講座

地域課題解決の
担い手を育成する

文京区NPO 活動PRフェア

NPOの活動に触れ、
交流する

詳細は特設サイトから
「文京ソーシャルイノベーション・プラットフォーム」

bunkyo-sip.jp



新たな公共プロジェクト事務局



empubliC
株式会社エンパブリック

■発行:

文京区 新たな公共プロジェクト事務局

■お問い合わせ先:

文京区 区民部区民課 協働推進担当
TEL 03-5803-1167 FAX 03-5803-1340
mail b-sip@city.bunkyo.lg.jp